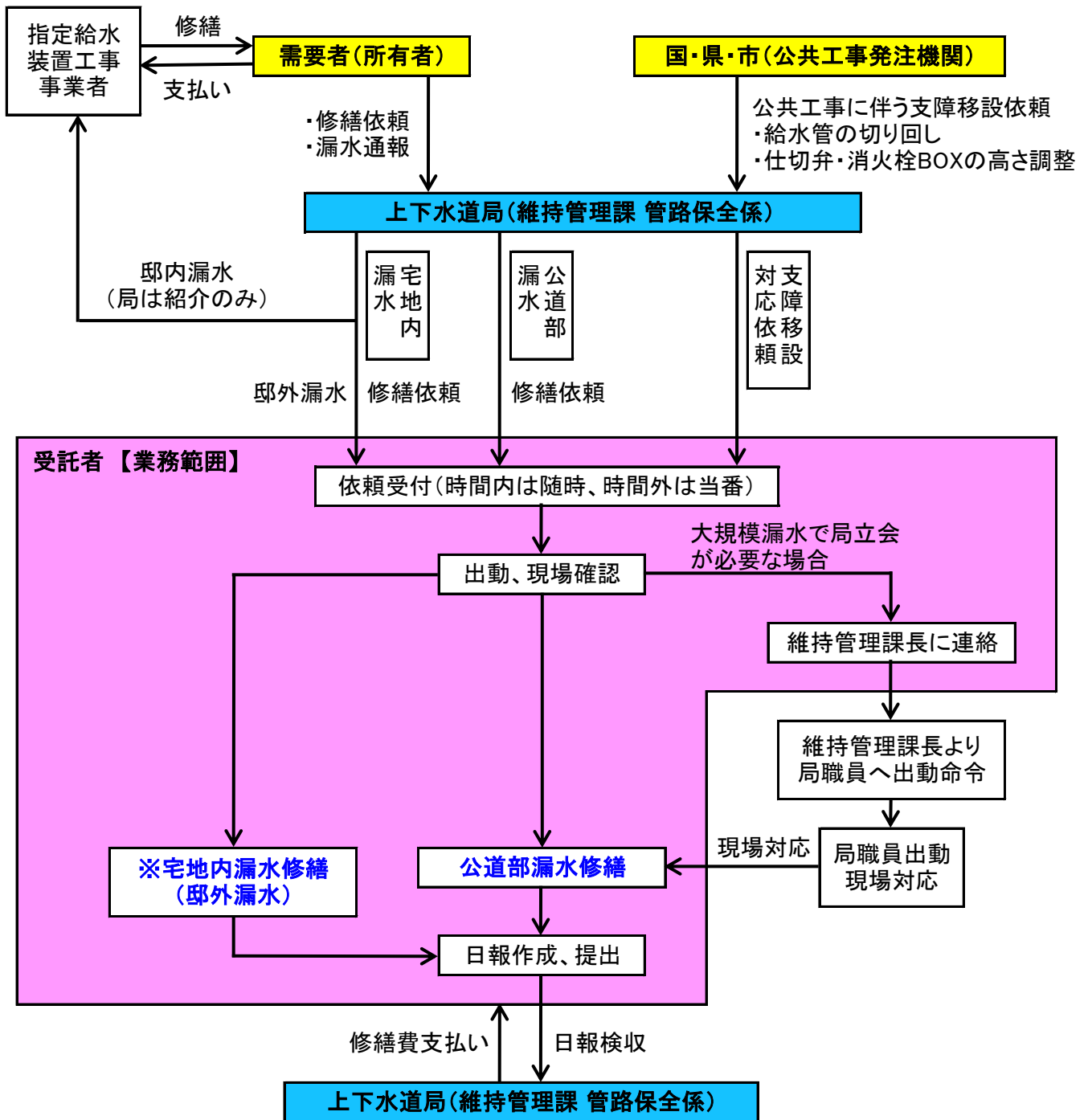


[委託業務フロー図]



※ 宅地内漏水修繕について(『給水装置修繕費用取扱い要綱』による)

① 宅地内漏水の区分については下記のとおりとする。

邸外漏水：官民境界からメーター2次側パッキンまでの漏水(基本的にはメーターが漏水を感知していなければ邸外漏水。また、感知していても漏水の原因が2次側パッキンであれば邸外漏水として扱う。ただし邸内漏水であっても、漏水量がごく少量の場合、メーターが感知しない場合があるので注意すること)。⇒原則として支払いは上下水道局(下記③による例外あり)

邸内漏水：メーター2次側パッキンより先での漏水。⇒支払いは需要者(所有者)

② メーター直結止水栓の閉栓不良及び漏水による取替えは局負担とする。これに伴い、BOX内に納まっていたものが納まらなくなった場合のBOX交換も局負担とする。ただし、局負担によりBOX交換を行う際は、事前に協議すること。

③ 国、県、市が所有する施設等の敷地内の修繕については需要者負担とする。

なお、費用負担について判断に迷う場合は、事前に上下水道局(維持管理課管路保全係)と協議すること。